

Linux導入についての検討報告

2003/5/15

ABCDエンジニアリング

山田

目的

■ サーバ/クライアントOSのリプレース

- 東京本社工場 (150台)
- 名古屋工場 (35台)
- 大阪営業所 (15台)
- サーバ (12台)

課題

- 導入コストを最少に
- 運用管理コストを抑える
- 互換性
- OS/アプリ寿命の明確化

課題検討<1>

■ 導入コスト圧縮

- リプレースの場合、WindowsとLinuxでは大差がない
- すべてのLinux化は、現状では非現実的
 - » 用途や利用環境に合わせ、混在環境にする!
- 導入コストを下げるのには、MS Officeの購入数を抑えることが効果的
 - » Star OfficeやOpen Officeを標準とする!

■ 運用管理コスト削減

- 作成データはすべてファイルサーバで管理
 - » PCサポートの手間を省くため一部をディスクレス化する (CD-ROMブート)
- PC/サーバ管理を台帳化する
 - » QNDを導入
- ノーツは一部のみ残り、サイボウズへ移行

課題検討 < 2 >

■ 互換性

- 操作の互換性は考慮しない
 - » 必要な操作のみをおこなわせる
 - » 教育でカバーする
- データについては、100%の互換性は要求しない
 - » MS Officeでも同じだったはず
- MS-Accessを利用している部門(名古屋)はWindowsを標準とする

■ OS/アプリの寿命

- OSはTurbo Linuxの標準サポートである3年に合わせる
- アプリは3年とする

全体構成<1>

■ クライアントOS

- Windows :Windows2000
- Linux :Turbo Linux 8 Workstation

■ サーバOS

- Linux :Turbo Linux 8 Server
 - » ファイル共有はWindowsネットワーク (Samba利用)
 - » RASについては未決定 (決定まではNTを使う)

■ WAN回線

- 広域LANサービス導入によりコストパフォーマンスをあげる
 - » サーバの集約化を実現

全体構成<2>

- グループウェア
 - ノーツからサイボウズへ移行
 - 既存のノーツデータベースはWeb対応設計に置き換える
- イントラ系システム
 - Mozilla系ブラウザで動作するように設計変更
- 特定システム
 - 基幹系システム :Windows2000用エミュレータを購入
 - CAD/CAM :Unix版からLinux版に置き換える
- RAS
 - 後日検討

サイト別構成

■ 東京本社工場

- 経理部門 :Windows2000デスクトップ
- 営業部門 :Windows2000 ノート
- 総務、製造部門 :Linux (CD-ROM起動) ノート
- 設計部門 :Linuxデスクトップ
- 情報システム部門 :Windows/Linuxデュアルブートのデスクトップ

■ 名古屋工場

- 開発部門 (設計) :Linuxデスクトップ
- 試作部門 :Linux (CD-ROM起動) ノート

■ 大阪営業所

- 営業部門 :Windows2000 ノート

数量

サイト / 部門		旧			新		備考
		95/98/Me	NT4.0/2000/XP	Unix/Linux	Win2000	Turbo Linux 8	
東京	経理、営業	35	5		40		
	総務、製造	80	2	8		90	CDブート
	設計		5	5		10	
	情報システム	2	8		10	10	デュアルブート
名古屋	開発 (設計)		10	15		25	
	試作	10				10	CDブート
大阪	営業	10	5		15		
サーバ			9	3	1	9	2台削減
		137	44	31	66	154	